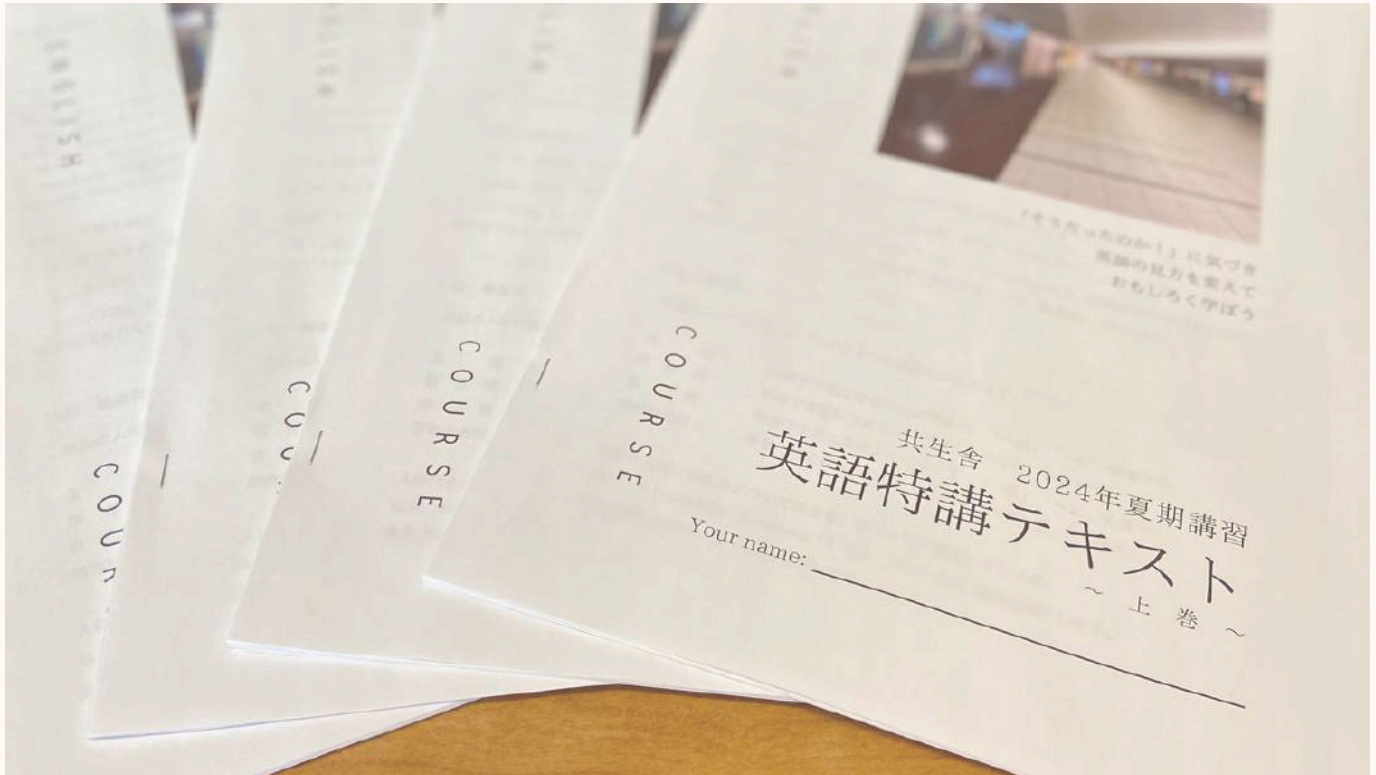


ARS LONGA, VITA BREVIS

室蘭輪西・八丁平 塾・フリースクール 共生舎 教室だより



目次

令和6年度第1四半期
教室概況報告

.....

夏期講習
実施中！

.....

いま注目！
「心理的安全性」

.....

令和6年8月の
募集状況について

点数に見えない力を形にするには

令和6年第1四半期 教室概況報告

3期制の学校では、1学期が終わり、期末試験の成績と評定が手元にあることと思います。そして、今年に入ってから、成績の伸びが、あまり芳しくないという方も少なくはなかったのではと感じています。

すでに1学期末試験が終わった学校さんの試験問題を見ると、「正しい知識を、正しく運用し、正しく表現する力」が求められていると感じます。見せていただいているテストの結果からも、「なんとなくわかっているだけではダメ」というメッセージが感じられます。

当教室も、日々の指導の中で、「ただなんとなく情性で問題に当たらないこと」や「やつつけ作業から脱却する工夫」、「きちんと人に伝えられること」など、いまの試験で求められる（そしてこの先生きていく上でも必要となる）スキルを伝えていきたいと思っています。同時に、それぞれの置かれている状況や、適性の違いなども理解し、時間がかかっても自然な形で、自分のものとしての力を身につけられるよう努めたく存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

知的関心をくすぐって

夏期講習実施中！

さる7月25日より、当教室も夏期講習を開始しております。今年の夏期講習では、英語の特別講習を実施しており、輪西では5名、八丁平では2名の生徒さんが、特別講習を受講してくださっています。

英語特別講習では、少し深い内容を取り扱っていますが、皆しっかりとイメージをふくらませ、表現力、分析力を高める素養を得ようと頑張っています。「これまで習ってこなかった、英語の見方ができるようになり、少しずつ理解につながられるようになると思う」と、新たな気づきや発見に目を輝かせています。

フリー枠では、通常授業の増枠対応見合いという意味もありますが、学年や学力に応じた問題に触れてもらう機会にもなっております。とりわけ、3年生にとっては、8月学力テストも含め、思考力・分析力の求められる問題について、じっくり腰を据えて取り組むことのできる機会となっております。

塾生は途中参加も認めておりますので、ご希望の方はいつでもお申し付け下さいませ！

火曜19時枠、締切間近！

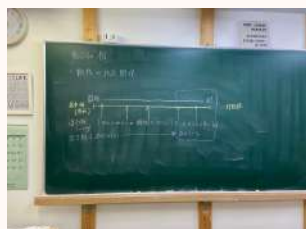
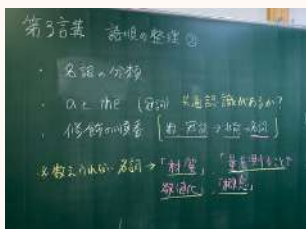
令和6年8月の募集状況について

【輪西本校】

- ・月曜、金曜 18:30以降
小学高学年以上推奨 各5名程度
- ※上記時間帯以外は要調整となります
- ※当教室の利用目的によっては、小学中学年以下でも受入を行っております。

【八丁平教室】

- ・火曜 八丁平第一町会館（3丁目）
18:00～19:00 全学年対象 5名程度
- ※以降は要調整とさせていただきます
- ・木曜 八丁平町会館（4丁目）**募集拡大！**
17:00～21:00 全学年対象 **7名程度**
- ※以降は要調整とさせていただきます



真の自発性を考えて

いま注目！「心理的安全性」

会社人事も教育も、「相手があつてのお話」なので、なかなか自分の思う通りに進まない、という悶々とした思いを抱えることも、あるかもしれません。

言われたことをちゃんとやらない、言い訳をする、根拠に基づいて丁寧に説明しても、次の瞬間には忘れている…などなど。

ところが、最新の人事マネジメントでは、その原因に「**心理的安全性の低さ**」が存在するとされています。つまり、**それぞれの個人が、それぞれの存在として、なるべくありのままの状態**でいられているか、ということです。

もちろん、**ありのままであるということと、自分勝手であるということは、まったく違ったもの**ですので、良くない行いには良くない、と毅然として示す必要はあります。しかし、それが**ただのあら探しで終わると、相手との関係性は悪化する一方**となります。

「勉強しない」「思ったような成績を残せない」…学業についての困りごとも、この心理的安全性が関係していると考えています。この点については、編集後記にてお伝えします。

編集後記

心理的安全性が低い状態では、自分の意見に耳を傾けてもらえないのではないかとという恐れやあきらめ、誤答をしてはいけないという恐れ、完璧でなければならないという強迫観念などが生まれてしまいます。

しかし、これからの時代の変化はとてつもなく早く、その中で人間にしかできない感覚や思考に基づいた判断を下していかなければならない中では、行き過ぎた完璧主義は、世の中を生きにくくしてしまうでしょう。

できないことはできないと素直に認め、それを否定したり馬鹿にしたりせず、次にどうやって対処していくかをともに考え、行動していくことが、「心理的安全性」を高め、学力のみならず生きる力づくりにも繋がると考えます。

